事例No.	1184
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	福岡県宇美町

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・教育・子育て

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共施設内設備の木質化事業

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

福岡県　宇美町（公共施設内設備の木質化事業）

- 宇美町では木材利用を通じて、町民が木と身近にふれあうことにより、森林整備に対する理解の醸成に取り組んだ。
- 令和元年度においては、以下の取組みによる木材利用の普及啓発活動を実施した。
  - 公共施設各所の設備を木質化することで、普段木とふれあうことのない町民が、木とふれあえる場を設けた。
  - 出生届を提出された方へ、子供が幼少期から木材への親しみを感じてもらえるように、木製スプーンを配布した。
- 令和2年度は、木製スプーン配布事業の継続等による普及啓発活動に加え、町内の森林整備推進を見据えた森林所有者情報整備事業を計画。

□　事業内容

1．公共施設内設備の木質化事業

- 公共施設内のベンチ、パンフレットラック、デスクマットの木質化を実施。
- 町立保育園に木製靴箱を新設。
- 利用者からは、「ひのきの良い香りがする」等の感想をいただいた。

【事　業　費】1,697千円（うち譲与税1,689千円）

【実　　績】木材使用料2.3㎥




（事業１：公共施設内設備の木質化事業）

2．木製スプーンの配布

- 出生届を提出された方に、町制施行100周年事業として、「100周年」と「百日祝い」をかけ、お食い初めで使用してもらえるよう、100周年記念ロゴを印字した木製スプーンを配布した。
- 受け取った方から、「手触りが良い」「デザインも良く記念品として保管したい」等の感想をいただいた。

【事　業　費】230千円（うち譲与税230千円）

【実　　績】100個配布（R2年度事業で追加製作、配布継続中）




（事業２：木製スプーンの配布）

□　事業スキーム

2　木製スプーンの配布



□　工夫・留意した点

- 単に木製スプーンを配布するだけではなく、町制施行100周年と連携することで、記念品としての希少価値を出した。
- 塗料等を使用せず木の加工のみとすることで、手触りが良く幼児の口に合うデザインとした。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	1,919千円
②私有林人工林面積（※１）	431ha
③林野率（※２）	60.8%
④人口（※３）	37,927人
⑤林業就業者数（※４）	0人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」